

【離婚協議書】テンプレート

あかつか探偵事務所

※こちらのテンプレート御使用に際しての御注意

こちらのテンプレートは当「あかつか探偵事務所」にて依頼者様より御要望の際に使用しているテンプレートです。

こちらを訪れて頂いた方への参考となれば幸いと存じ、公開させて頂いております。

ダウンロード、プリントアウトにつきましては全て無料にて御使用頂けます。

御使用に際しまして御注意事項がございますので以下↓利用規約を必ず熟読された上、利用規約に同意されます方のみ御使用下さい。

(こちらをダウンロード、プリントアウトされた場合は、その時点で利用規約に御同意頂いたものと認めさせていただきます。)

利用規約

- ①こちらのテンプレートは当「あかつか探偵事務所」におきまして離婚の御相談等頂いた際に実際に活用している書面ではありますが、あくまでも個人間の取り決め、個人間の誓約事を記す〔念書〕と同等の私書です。
法的に効力を有する書面ではありません事を御確認の上、御使用下さい。
又、こちらのテンプレートに記載の内容につきましては、妥当性、有用性等を当「あかつか探偵事務所」は全てにおいて保障するものではありません。
- ②こちらのテンプレートを使用した事による問題の発生、紛争、トラブル等一切は「あかつか探偵事務所」は関与、保障するものではありません。
閲覧される方、ダウンロードされる方、印刷される方、実際に御使用頂く方ご本人の全責任において御利用頂く事となります。
- ③こちらのテンプレートにつきましてはの個別の御相談は致しかねますので予め御了承下さい。
又、こちらのテンプレートを基に当方が代理人行為等を行うものではありません事を御確認の上、御使用下さい。
- ④こちらのテンプレートを基に〔公正証書〕等の証書を作成される場合は、こちらに記載の内容全てを証書にする事はできません。
こちらのテンプレートには証書としては認められない項目も含まれておりますので予め御注意下さい。
離婚についての〔公正証書〕等作成にあたっては、こちらの協議書を参考に新たに証書の作成をして頂く事になりますので、詳しくは行政書士や弁護士等へ御相談下さい。
- ⑤こちらのテンプレートはあくまでも離婚の協議を行う上での双方合意を目的とした書面です。
こちらのテンプレートを基に一方的な請求、強要、脅迫行為等を行う事は固く御断り致します。
- ⑥こちらのテンプレートには「清算条項」が含まれております。
「清算条項」とは、本協議書を以って離婚に関する全ての紛争を解決したものとすることを決定の条項となります。
後に、記載されていない事柄等で請求したいものが発生しても締結後は請求できない事になりますので充分御確認、御注意の上、御使用下さい。
- ⑦本協議書は計四枚にて構成されております。
実際の御使用ではホチキス等で留め、当事者両名の契印をお勧め致します。
- ⑧こちらのテンプレート内容は御自由に改変して頂いて結構です。
大幅な改変につきましてはこちらの記載内容を基に、新たに作成した頂く事をお勧め致します。
(こちらのテンプレートは Microsoft Word A4 用紙サイズにて作成されております。)
- ⑨ダウンロード、プリントアウト行為につきましては実際に行う御本人の全責任において御利用下さい。
ダウンロード、プリントアウトに際してパソコン、コンピューター等に何らかの異常が発生しましても当「あかつか探偵事務所」は一切関与、保障するものではありません。

【離婚協議書】

1/4

現夫: _____ (以下、「甲」と呼ぶ。)と、 現妻: _____ (以下、「乙」と呼ぶ。)は、
両者正式に離婚する事に合意し、以下記載の契約内容を締結する。

記

第一条 離婚意思の確認

甲乙両者は離婚の意思を確認し、離婚届への署名押印、離婚届を提出する事に合意する。
尚、以下記載条項を基に正式に協議離婚成立とする事に合意する。

第二条 離婚事由、有責等

離婚事由: _____
当該離婚に際して有責配偶者のある場合の有責者氏名: _____

第三条 親権及び監護者

甲乙間の未成年の子について、親権者と監護者(監護者を別に定める場合)を次に定める。

- (1)子氏名: _____ (生年月日: _____ 年 月 日 性別: _____ 続柄: _____)については
親権者を: _____ と定める。
(監護者を別に定める場合、監護者を: _____ と定める。)
- (2)子氏名: _____ (生年月日: _____ 年 月 日 性別: _____ 続柄: _____)については
親権者を: _____ と定める。
(監護者を別に定める場合、監護者を: _____ と定める。)

第四条 養育費支払いの義務

未成年の子、上記(1)、(2)に対する養育費債務、監護費用支払いは次に定める方法にて実施する。

- (1)子氏名: _____ については、養育費債務者: _____ と定め、期間: _____ 年: _____ 月より
毎月一回: _____ 日までに月額: 金 _____ 円を支払うことと定める。
養育費納入先:
: _____ 銀行: _____ 支店 (普通・ _____) / 口座名義: _____ / 口座番号: _____
上記方法にて、当該の子が満年齢二十歳となる日の属する月まで継続して支払うものと定める。
- (2)子氏名: _____ については、養育費債務者: _____ と定め、期間: _____ 年: _____ 月より
毎月一回: _____ 日までに月額: 金 _____ 円を支払うことと定める。
養育費納入先:
: _____ 銀行: _____ 支店 (普通・ _____) / 口座名義: _____ / 口座番号: _____
上記方法にて、当該の子が満年齢二十歳となる日の属する月まで継続して支払うものと定める。

第五条 養育費に関する特別措置

養育費受取側である: _____ は次に定める諸事情の発生に伴って養育費金額の増額を申し入れる事が
できるものとする。

- (1)物価の高騰等により現在の養育費金額が社会的に妥当ではないと判断された場合、相応の増額。
(2)それぞれの子が病気、怪我等に伴う入院となった場合、入院費用に対する: _____ %分の増額。
(3)それぞれの子が高等学校、大学校等の入学となった場合、入学金に対する: _____ %分の増額。

養育費支払側である: _____ はこれらの申し入れに対して特別な事情が無い限り増額に応じる事とし、
申し入れについては誠実に対応するものとする。

第六条 子との面接交渉権

: _____ は毎月一回、当該の子への面接、面会を申し出ることができるものとする。
その際の面接日時、面接場所、面接時間、面接方法、面接時の禁止事項等については
その都度甲乙両者にて取り決めをする事とし、その事柄については子供の福祉を害するものではない
ものとする。

第七条 損害賠償・慰謝料

当該離婚に際して、損害賠償、慰謝料の発生する事案の場合、
 : _____ は: _____ に対して次に定める方法により慰謝料を支払う事を定める。

- (1)慰謝料債務の事由、名目: _____
- (2)慰謝料支払いの金額:金 _____ 円を支払う。
- (3)一括払い又は分割払いの種別: [一括 ・ 分割]
- (3-A)一括払いの場合の期限及び方法: _____ 年: _____ 月: _____ 日までに
 : _____ 銀行: _____ 支店(普通・) / 口座名義: _____ / 口座番号: _____
 へ振り込むものとする。
- (3-B)分割払いの場合の期限及び方法
 計: _____ 回の月払い分割により支払うものとする。
 ・一回目 /:金 _____ 円を: _____ 年: _____ 月: _____ 日までに振り込む、
 ・二回目以降翌月より /:金 _____ 円を毎月: _____ 日までに振り込む、
 いずれも納入先口座は: _____ 銀行: _____ 支店(普通・) /
 口座名義: _____ / 口座番号: _____ へ振り込むものとする。

※上記慰謝料の決定は法的根拠に基づいた請求であり、又、甲乙両者合意での取り決めとして
 不当な要求ではない事を証する。

第八条 財産分与

: _____ は: _____ に対し、財産分与として現在: _____ 名義の次の財産を分与、譲渡する。

- (1)不動産 / 対象不動産土地表記
 登記不動産番号: _____、
 所在: _____ 県: _____ 市: _____ 町: _____ 丁目、
 地番: _____、
 地目: _____、
 地積: _____ 平方メートル、
- (2)不動産 / 対象不動産建物表記
 登記不動産番号: _____、
 所在: _____ 県: _____ 市: _____ 町: _____ 丁目: _____ 番地、
 家屋番号: _____、
 種類: _____、
 構造: _____、
 床面積: _____ 平方メートル、
 尚、分与、譲渡期日として: _____ 年: _____ 月: _____ 日までに財産分与を原因とする
 所有権移転登記の登記申請手続きを行う事とする。
 又、所有権移転登記が終了次第、当該権利書は速やかに: _____ が所持保管するものとする。
- (3)その他、不動産以外の分与、譲渡
 名目: _____
 分与、譲渡の期限と方法等:

[_____]

第九条 年金分割

(1)合意分割

第一号改定者: _____ と第二号改定者: _____ は双方の合意により、婚姻期間中の厚生年金標準報酬を
 基に按分割合を: _____ とすることに決定した。

尚、当該合意分割の同意を証するものとして公正証書作成に際しては甲乙両者が誠意をもち、
 協力して作成しなければならないものと定める。

又、当該公正証書等の合意したことの証明書を基に速やかに社会保険庁(年金事務所等)へ分割請求を
 行うものとし、請求手続きに関しても甲乙両者が誠意をもち、協力しなければならない事と定める。

(2)3号分割

第二号改定者: _____ は平成二十年四月一日以後の国民年金第3号被保険者期間を基に、第一号改定者
 : _____ の厚生年金標準報酬から二分の一の分割請求を行う事をここに宣言する。

第一号改定者: _____ は当該分割請求を確認したこととする。

第十条 **婚姻費用の分担**

正式に離婚成立となる以前に甲乙の別居期間を有する場合には、婚姻費用を分担することと義務付け、婚姻費用(子の養育費含み)の支払いは次に定める方法にて実施する。

婚姻費用支払い義務者: _____ と定め、期間: _____ 年: _____ 月より毎月一回: _____ 日までに月額: 金 _____ 円を支払うことと定める。

婚姻費用納入先:

: _____ 銀行: _____ 支店 (普通・ _____) / 口座名義: _____ / 口座番号: _____

上記婚姻費用の支払いは正式に離婚が成立となる(離婚届受理となる)日が属する月まで継続的に支払われることと定める。

第十一条 **公正証書**

本協議書を基に公正証書作成の要望が甲乙どちらか一方より有った場合は、これを拒否することはできないものと定める。

甲乙両者は公正証書作成に共に合意し、誠意をもって協力しなければならないものとする。

尚、公正証書作成に際しては強制執行認諾約款の取り決め、制定にも同意するものとする。

第十二条 **調停・裁判への移行**

正式に離婚が成立となる以前に調停が実施されることとなった場合、若しくは本協議書記載条項が正しく実施されない事などから何らかの請求調停、裁判が実施されることとなった場合は、甲乙共に調停、裁判への出頭は誠意をもって対応することとし、又これを拒めないことと定める。

尚、調停が実施されることとなった場合の申し立て裁判所は住所地を管轄する

: _____ 裁判所とする。

第十三条 **変更事由の連絡義務**

甲乙両者はそれぞれが住所変更、連絡先電話番号変更、勤務先変更等が発生した場合は相手方へ速やかに変更後の新連絡先(名)を告知しなければならないものと定める。

第十四条 **期限の利益喪失約款・強制執行認諾約款**

本協議書条項に定められた金銭債務一切において、期限の利益の喪失約款として支払い義務側となる債務者が次に定める事項の一つでも該当する場合は期限の利益を喪失するものとし、支払い期限の到来していないものに関しても即刻未払い残金の全額を支払うものと定める。

- (1)一括払い及び分割払いの期限を一度でも遅滞したとき、
- (2)他の債務に関しての仮差し押さえ及び差し押さえ、又は仮処分を受けたとき、
- (3)他の債務に関しての強制執行及び担保権実行を受けたとき、
- (4)競売、自己破産、破産、民事再生の手続きが開始されたとき、
- (5)国税納付に関して滞納処分を受けたとき、
- (6)刑務に服す事となり、その後の支払いが困難と判断される時。

又同様に、本協議書条項に定められた金銭債務一切において、一度でも遅滞、不履行となったときは債務の強制執行に服する事を承認したものと定める。

強制執行の方法等:

■養育費支払いが不履行となった場合の強制執行措置:

■損害賠償・慰謝料の支払いが不履行となった場合の強制執行措置:

■財産分与支払いが不履行となった場合の強制執行措置:

■婚姻費用分担の支払いが不履行となった場合の強制執行措置:

第十五条 **本協議書以外の債権債務について(清算条項)**

甲乙両者においては本協議書に記載された条項以外は一切の債権債務を有せず、いかなる名目も問わずいかなる請求も行えないものと定める。

尚、本協議書締結を以て甲乙両者は平和的に和解するものとし、本協議書記載条項すべてにおいて正しく実施されるものとして紛争一切を有しない事とする。

又、甲乙外の第三者による本離婚協議内容への干渉、関与は一切認めないものとし、外部からのいかなる不服申し立ても受け付けない事を甲乙共に確認する。

第十六条 **離婚届**

離婚届提出の際は、甲乙の両者が署名押印し：_____が速やかに確実に所定の役所へ提出するものとする。

備考 **その他、一般家財品所有者、ペットの所有者**

(1)現時点で存在する一般家財品の所有権明細

(ア) 自家用自動車(車名 / : _____ 登録ナンバー / : _____) / 所有者 [甲 ・ 乙]

(イ) テレビ / 所有者 [甲 ・ 乙]

(ウ) 冷蔵庫 / 所有者 [甲 ・ 乙]

(エ) 洗濯機 / 所有者 [甲 ・ 乙]

(オ): _____ / 所有者 [甲 ・ 乙]

(カ): _____ / 所有者 [甲 ・ 乙]

(キ): _____ / 所有者 [甲 ・ 乙]

(2)ペットの所有者

(ア)ペットの名前: _____ 動物種別: _____ 所有者 [甲 ・ 乙]

(イ)ペットの名前: _____ 動物種別: _____ 所有者 [甲 ・ 乙]

※上記、一般家財品の所有者及びペットの所有者を定め、以後の不服申し立ては行わないものとする。

*以上、離婚協議書として甲乙共に合意するものとし、直筆押印する。

尚、本協議書は2通作成し、甲乙両者がそれぞれ1通ずつ所持保管する。

又、締結後の本協議書記載文字、数字の訂正、修正は一切認めない事を甲乙共に宣誓する。

甲乙、上記記載の本協議書全文全条項へ合意することを誓約致します。

■本協議書締結年月日

: _____年: _____月: _____日()
: _____時: _____分

■本協議書締結地(場所)

: _____

■甲(現夫)氏名: _____

生年月日: _____年: _____月: _____日生

現住所: 〒: _____

: _____

押印

■乙(現妻)氏名: _____

生年月日: _____年: _____月: _____日生

現住所: 〒: _____

: _____

押印

(立会人の在る場合、立会人氏名: _____)